

週日の説教

金 大烈 神父 2009年8月19日(水)

《神様の御旨は、私達とは違う事を意識しましょう》

おはようございます。

皆様、今日の福音を(マタイ 20・1-16)読んだらどんな気持ちになりますか? 朝早く働いた人は、幼児洗礼を受けている信者さんかも知れません。午後5時に雇われた人は、最近洗礼を受けた人かも知れません。そして夜明けの5時に来た者はユダヤ人かも知れません。あるいは、異邦人である私たちが午後5時に来たのかも知れませんね。早く来たのはユダヤ人で、後から来たのは私達かも知れません。色々なとらえ方がありますよね。やっぱりこの箇所を人間的な目を見た場合は腹が立ってしまいます。主人と1デナリオン、たとえば一日の賃金ですから5000円で約束したのは確かなこと。しかし、ただ1時間だけしか仕事をしなかった者に同じ5000円を与えたら「ああ、あの入りっぱだな」と言うより、「私達にもっと与えてくれた方が正しいじゃないか」と思うのが私達の心理であり、心の働きです。

さあ、皆様、今日の福音を通して私達がはっきり自覚しなければならない事は、神様の考え方、御旨は、私達とは違うと言うことです。数える事で何かを判断する方ではありません。例えば過去にどんな行為があっても、どんな姿を見せていても、それよりもイエス様が強調なさったのは、今現在、救われる状態にいるかどうか、それを一番大事にきなさいと言うことです。

そうしたら、ある人はこのように文句言うかも知れませんね。あの人は悪い事ばかりして来たのに、ある日突然教会にやって来て、要理の勉強をして悔い改めたような感じで、そして洗礼を受けた。私は子供の時から親に強制的に教会へ連れられて、毎日、良い事をしなければならぬと言われてながら、今までやって来たのに悔しいですよ。

よく考えてみて下さい。どちらが幸せです? 死ぬ時、今までの人生を振り返って「ああ、悪かった」と思って、悔い改めた人が過ごした人生、幸せだと思いますか? 仕方なく親の手に連れられて教会に来た者が幸せでしょうか。絶対に不公平ではありません。実際に私達に与えられた人生、本当に楽しみながら信仰生活した人は文句を言うはずがありません。それは不公平ではありません。親のおかげで早い時期に神様に会って、悪いことを出来るだけ避けながら、両親に従順を示しながら、今まで自然に信仰生活をしてきたわけです。それが幸せじゃないですか。あの人は今まで色々な悪い感情で、神様に会える機会がありませんでした。そして、もっと早くイエス様に会えたら、自分の人生、もっと豊かにする事が出来たのに、死ぬ直前にイエス様に会って悔しい思いを持つ人は、実際午後5時に呼び掛けられた人ではないでしょうか。そのように思ったら、私達はもっと正しく客観的に自分の事を見る事が出来ると思います。

皆様、神様は本当の悔い改めがあれば、赦して下さる方です。もちろん、自分の人生にとって過去というものは大事な事です。しかし、過去に縛られないで下さい。いつも私達が力を注ぐべきところは今現在の自分の事です。自分がどんな状態にいるか、本当に救われる状態にいるのか、自分を滅ぼす状態にいるのか、今いるところは天国か地獄か、それをいつも図ろうとする事がなによりも必要じゃないかと思います。私達が天国に行った時に、あの人がここにいるなんてと思う人がいるかも知れませんし、もし地獄に行ったら、この人が何故こちらにいるんだろうと思うかも知れません。いずれにせよ、人間の考えではわかりません。皆様、現在を幸せになって下さい。その霊的進歩によって、

いつもイエス様と共に歩むことによって、自分が今死んでも、神様が何とか哀れんで見て下さるだろうと信頼し、今のこの時を大事になさって下さい。そして、未来に希望を持ちましょう。

ありがとうございました。